心理学研究の実践 II

科目ナンバリング PSY-102
選択必修 2単位

茂垣 まどか

1. 授業の概要(ねらい)

心理学の研究者たちの一連の研究の流れ(問題意識～手法～結果～考察・結論)を解説する。講義やグループワークを通して、心理学的な物の考え方の基礎を身につけることが目的である。

2. 授業の到達目標

心理学研究法の基礎を身につける。
心理学研究の結果をデータから正確に読み取ることができる。
研究者の視点で、身の回りの問題について考えることができる。
尺度の作成や基礎的なデータ分析を行うことができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加度30%, 中間試験30%, 期末レポート40%で総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定しない。資料を用いて授業を進める。

参考文献

小塩真司(著) はじめて学ぶパーソナリティ心理学 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

事前に指定・選択した論文や専門書を読んでレポートを提出する必要がある。
授業時間外で調査にまつわる作業やそのためのグループワークを行う必要がある。
授業で配布した資料、ノートなどを読んで復習すること。

6. その他履修上の注意事項

心理学研究の実践 I を受講しておくこと。
第1回イントロダクションに必ず出席し、この授業の進め方をよく理解したうえで受講すること。欠席した場合の不利益が大きいので注意すること。
グループ活動を通して意見交換や理解を深めることを実施するため、授業への積極的参加が求められる。
授業計画は、進行状況に応じて調整する場合がある。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 パーソナリティ理論の概説
- 【第3回】 パーソナリティ測定に関する概説
- 【第4回】 心理尺度とは
- 【第5回】 心理尺度の紹介
- 【第6回】 研究仮説の設定
- 【第7回】 心理尺度の作成1
- 【第8回】 心理尺度の作成2
- 【第9回】 心理尺度の作成3
- 【第10回】 データ入力と分析
- 【第11回】 結果の検討1
- 【第12回】 結果の検討2
- 【第13回】 結果の検討3
- 【第14回】 研究者倫理に関する解説
- 【第15回】 まとめ